

# 高崎市教育センター 教育支援センター 「ユース台新田教室」

- 開設 平成7年4月1日  
□代表者職氏名 教育センター 所長 上村 英之  
□所在地 〒370-1206 高崎市台新田町314番地  
高崎市青年センター内  
□電話／FAX (027)346-7166



## 1 運営の目的

不登校の状態に悩んでいる児童生徒に、仲間との触れ合いの場と機会を設けて、様々な体験活動や学習の補充などを通して、自主性や社会性、集団生活への適応力等を養い、社会的自立に向けて指導・支援を行う。

## 2 令和8年度職員の構成・分担

職員		業務内容
教育センター	所長 1人	運営総括
	次長 1人	運営補佐
	担当指導主事 2人	指導全般
	所員 2人	指導全般
	庶務 1人	庶務全般
教室	指導員 3人	通室生の指導及び相談

## 3 入室対象者及び令和7年度受け入れ状況

### (1) 入室対象

高崎市内に在住する不登校又は不登校傾向の児童生徒で、本人及び保護者が入室を希望し、通室が適切であると認められた者。

### (2) 受け入れ状況(令和7年度)

小学生 8人 中学生33人 計41人

## 4 令和8年度の開設状況

### (1) 開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日  
9:00～16:00

### (2) 開設期間

1学期 4月7日～ 7月17日  
2学期 9月1日～12月25日  
3学期 1月7日～ 3月12日(中3)  
24日(小6)  
26日  
(その他の学年)

### (3) 日時程

時間	主な活動内容
9:00～	通室
9:30～	学習活動、スポーツ活動、 創作活動、農園芸作業等
12:00～	昼食・自由時間
13:00～	学習活動、スポーツ活動、 創作活動、農園芸作業等
14:45～	一日の振り返り、清掃
15:00	退室

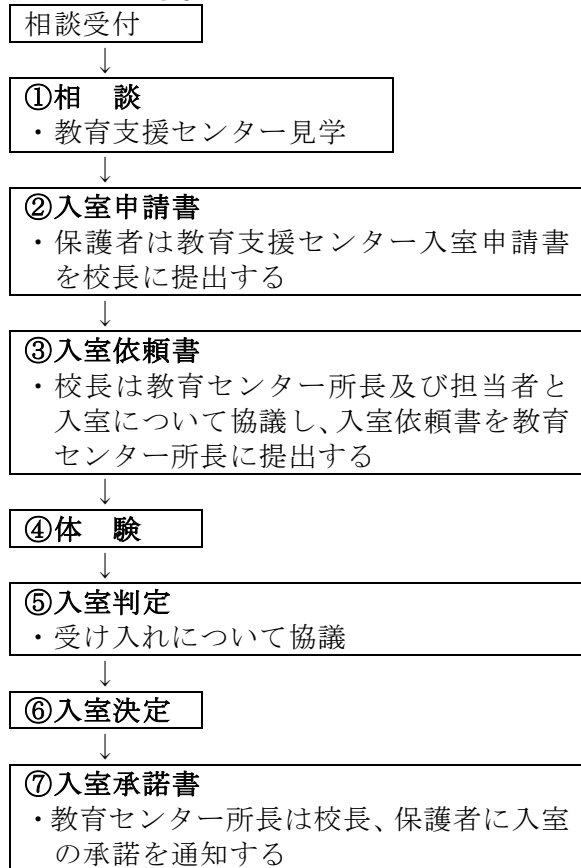
### (4) 主な行事予定(令和8年度)

※8教室合同行事

10月	ものづくり体験学習 (たくみの里)
11月	自然教室体験学習 (サンデンフォレスト)
1月	プラネタリウム体験学習 (高崎市少年科学館)

## 5 入室・退室の進め方

### (1) 入室対象



### (2) 退室の手続き

学校との連携のもと、学校へ登校する時間が増加した等の理由により、通室休止とすることができる。年度末に全通室生を退室とする。

## 6 学校、家庭及び関係機関との連携

### (1) 学校との連携

- 通室している児童生徒の担任、在籍校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、管理職などと学期に1回、定期的な情報交換を行う。また、必要に応じて随時行う。
- 必要に応じて、指導員が学校を訪問し、児童生徒の様子を伝え、今後の指導・支援について話し合う。
- 通室の状況が安定し、かつ情緒面が安定してきた児童生徒に対しては、学校等での集団生活・活動に向けた支援を行う。その際には、本人の意思を尊重し、個々の状況に応じて段階的に進めていく。

### (2) 家庭との連携

- 指導員とボランティア相談員は、保護者との面談を積極的に行い、支援していく。

### (3) 関係諸機関との連携

- 通室生の状況に応じて、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、高崎市児童相談所、専門医療機関等との連携を図る。

## 7 特色ある活動

不登校児童生徒が、自然に親しむ活動や人と関わり交流する活動を通して、自主性や社会性、集団生活への適応力等を高めることが、社会的自立に向けた支援につながると考え、8教室合同行事を実施している。

令和7年度に実施した8教室合同行事の概要は以下のとおりである。

### ○ものづくり体験学習

期日 令和7年10月17日（金）

場所 たくみの里

目的 仲間と交流しながら創造的な活動を楽しむ経験により、達成感を味わい、社会性の向上を図る。

### ○自然教室体験学習

期日 令和7年11月27日（木）

場所 群馬県立自然史博物館

目的 自然史資料に親しみ、地球の歴史や自然科学への興味・関心を持つ。また、活動を通して、多くの人と交流し、互いに関わり、ふれ合う楽しさを味わう。

### ○プラネタリウム体験学習

期日 令和8年1月21日（水）

場所 高崎市少年科学館

目的 天文についての基礎的な知識を知り、天文に対する興味・関心を高め、自然科学の楽しさを知る。

令和7年度に教室別の行事として、以下の体験活動を実施した。

### ○施設見学（2月）

場所 高崎量子技術基盤研究所

内容 研究施設の見学や体験活動を通して、科学への知識や興味・関心を深める。

### ○卒業生のお話を聞く会（3月）

対象 通室生とその保護者

内容 卒業生（高校生）からの体験談を聞くことにより、新年度からの進路への意識を高める。

### ○調理実習（3月）

内容 施設の調理室を借りて、卒業生と通室生の最後の行事での交流とする。